

4. 事業の概況（平成27年度）

①事業別業況

◇農業関連事業

【購買事業】

当期の生産購買品供給高は、平成28年産水稻肥料農薬の価格統一・予約購買の実施、また資材店舗でのキャンペーン等に取り組んだ結果、13,193百万円となりました。

【販売事業】

当期の販売品取扱高は、受託販売品において畜産物等の品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組んだ結果、37,430百万円となりました。

◇生活関連事業

当期の生活購買品供給高は、店舗事業における「地産地消」を軸としたJAらしい店舗運営の実践、また燃料事業における合併記念セール等の結果、21,810百万円となりました。

◇信用事業

期末残高は、JAしまね誕生記念キャンペーンや夏冬のキャンペーン実施、島根県信連との統合により、貯金が978,185百万円となりました。また、貸出金の期末残高は307,875百万円となりました。

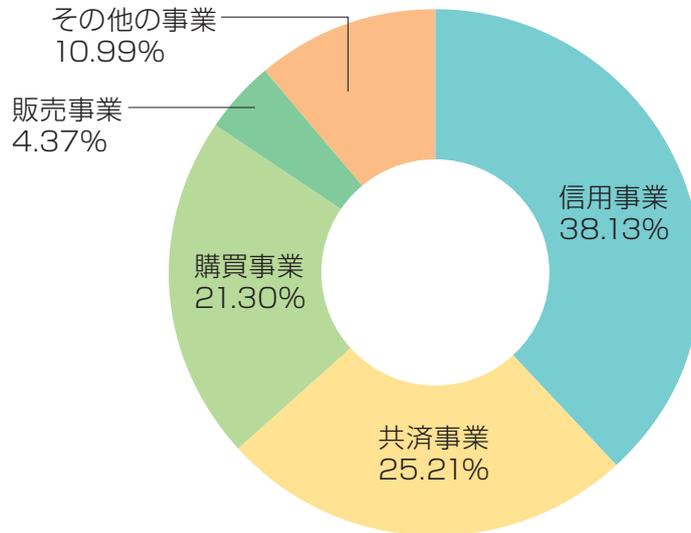
◇共済事業

期末残高は、共済渉外担当者（LA）・支店担当者等の契約フォロー活動を通じて組合員・利用者をつなぎ、保障ニーズに即した提案活動に努めた結果、長期共済保有高が3,779,540百万円、年金共済保有高が20,289百万円となりました。

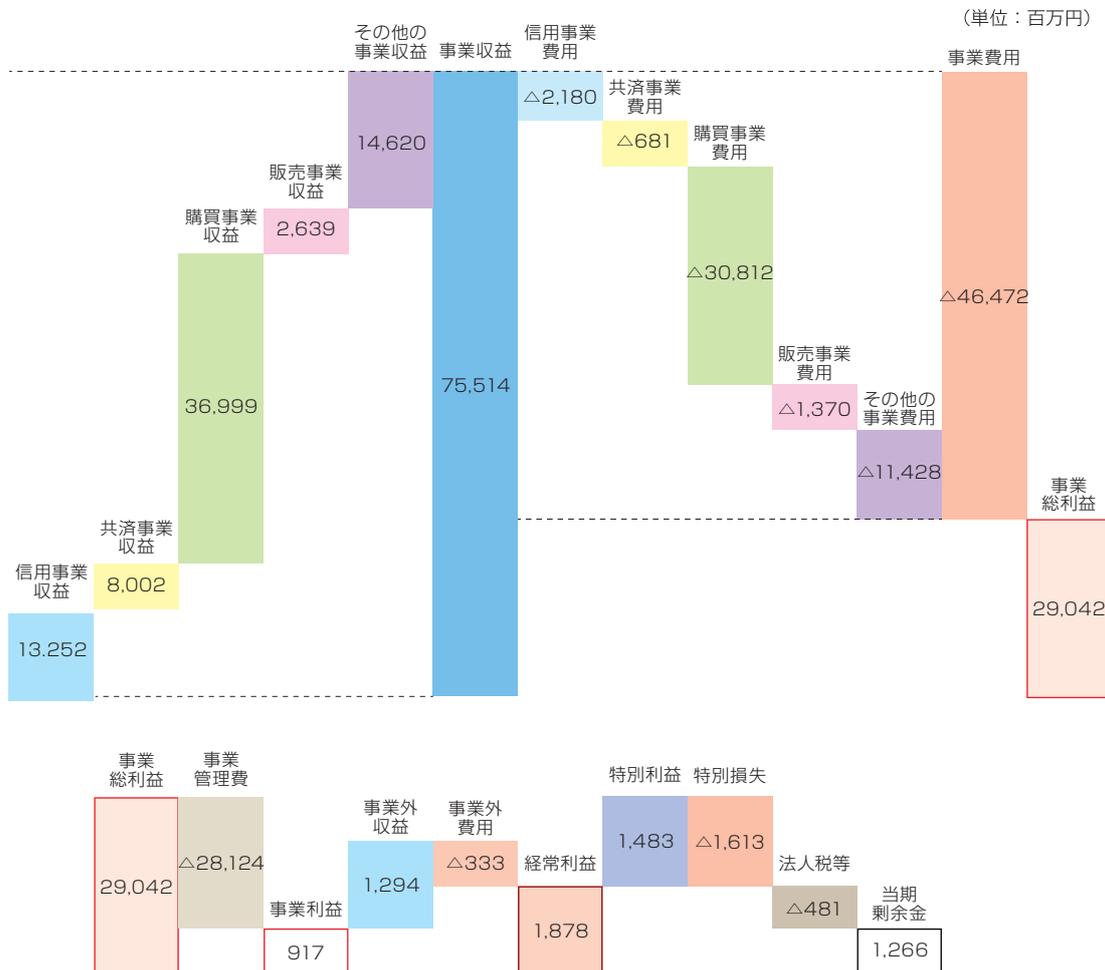
②損益の状況

損益は、事業総利益が29,042百万円、経常利益が1,878百万円となり、当期剰余金が1,266百万円となりました。

事業総利益に占める各事業の割合



事業総利益の増減要因



5. 事業活動のトピックス（平成27年度）

「協同の力」（人材・設備・資金）の結集と盤石な基盤強化を図り、農業とくらしを支える地域に根ざした協同組合としての発展を目指すため、県域連合組織の一部を統合しました。

全国農業協同組合連合会島根県本部の一部事業譲受け

平成27年4月に担い手対応事業・農産物生産販売事業・生産資材供給事業・ガス供給事業を譲り受けました。

島根県信用農業協同組合連合会の包括承継

平成27年8月に貸出金業務・貯金業務の一部を譲り受け、同年11月にすべての事業を承継しました。



6. 農業振興活動

農業戦略「耕そう!!しまねの大地」の実現

品目別・地区本部別の具体的な行動計画を定め、農業戦略の実現に向けて取り組みを行いました。

J A 農業振興支援制度の利用拡大や、しまね農業・生き生きプランの実施により、組合員の生産基盤の拡充と所得増大に取り組みました。

担い手支援の取り組み

T A C による約1,500の担い手に対し定期的な訪問活動による情報提供や情報収集活動、新たなニーズの発掘に取り組みました。

担い手の農業経営の改善を図るため、J A しまねとの取引データの提供や記帳代行による会計業務の支援に取り組みました。また、農事組合法人の代表者と意見交換を行い法人経営体に対する支援ツールの検討、先進地視察等を行い、新たな支援システムの開発に着手しました。

農作業事故の未然防止の啓発活動を行うとともに、不慮の災害に対応できるよう農業労災保険への加入促進に努めました。



販売力強化への取り組み

1.90mmふるい目による高品質化を目指し、J A 共同乾燥調製施設（C E ・ R C）への導入を行いました。

重点推進5品目（キャベツ、ミニトマト、アスパラガス、白ねぎ、たまねぎ）の生産振興を中心に協議し、生産者への作付提案や栽培講習会を開催しました。



畜産総合センター事業への取り組み

J A しまね農業戦略のモデル事業として、子牛育成施設（キャトルステーション）、繁殖雌牛預かり施設（繁殖センター）、肉牛肥育施設（肥育センター）を総合的に運営し、畜産農家・酪農家の労力軽減・増頭支援を進める畜産総合センター事業に取り組んでいます。

7. 地域貢献情報

地域からの資金調達の状況

(貯金・積金残高：平成28年3月末現在)

(単位：千円)

種類	残高
流動性貯金	368,077,410
定期性貯金	582,326,706
定期積金	26,660,391
その他の貯金	1,041,463
譲渡性貯金	80,000
合計	978,185,970

地域への資金供給の状況

(貸出金残高：平成28年3月末現在)

(単位：千円)

区分	残高
組合員	190,397,032
地方公共団体	75,434,111
その他	42,044,489
合計	307,875,632

地域密着型金融への取り組み

子育て応援事業

J Aしまねは、鳥根県が展開する「しまね子育て応援パスポート事業」に賛同し、協賛店として様々な商品において子育て世帯を応援しています。

平成27年10月より実施している住宅ローンキャンペーンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し多くの方にご利用いただいています。そして教育ローン・マイカーローンでも、こころパスポートをお持ちの方に対する金利の引き下げを行っています。

また、貯金商品では18歳以下のお子様がいいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金をご用意しています。



年金相談会の開催

組合員・地域の皆さまの年金に関するご相談に答えるため、無料年金相談会を開催しており、平成27年度は、延べ196回の相談会（相談件数1,216件）を開催いたしました。この相談会は、平日お勤めの方にご相談いただけるよう夜間、休日にも開催しています。

今後も幅広い相談にお応えできるよう、内容の充実を図り、相談会を継続開催してまいります。

農業所得増大・地域活性化応援プログラム

「アグリシードリース（農機具等リース応援事業）」の取り組みについて

規模拡大等によりコスト低減を図る生産者に対して、農機具等導入に対するリース料の一部助成を行いました。

当JAは、2回の募集期間を設定し、合計で申請件数70件（取引先数）、申請額156,758千円を受付し、農林中央金庫へ助成申請し全案件承認されました。うち第1回募集申請件数35件（取引先数）、申請額84,276千円については、申請者に対し助成を行っています。

農業所得増大・地域活性化応援プログラム

「新規就農応援事業」の取り組みについて

新規独立就農者に対する農業費用を助成する「新規就農営農支援事業（申請額1件当たり200千円）」について35件、研修受け入れ先に対する研修費用を助成する「新規就農研修支援事業（申請額1件当たり20～30千円/月）」について11件の申請を受け付け農林中央金庫へ事前申請しました。（平成28年7月末決定予定）

「JAバンク食農教育応援事業」の実施

子どもを対象とした食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもの農業に対する理解の深耕を図り、農業のファン層を拡大すること、及び地域の発展に貢献することを目的として実施しました。

具体的な事業内容としては、①管内小学校に対し食農・環境保全・金融経済教育にかかる教材本を無償贈呈しました、②子どもを対象とした食農・環境保全・金融経済に関する教育活動76事業を実施し7,511千円の費用助成を行いました。



地域社会に貢献する活動

- ①交通安全意識の啓発と交通事故防止を目的として、新中学生や街頭での夜光反射たすきの配付や、カーブミラー清掃を行いました。
- ②子どもたちのスポーツを通じての健やかな成長とふれあいと友情の輪を深めることを目的に、キッズサッカー大会や学童野球大会・小学生バレーボール大会を開催しています。
- ③車椅子やワクチンを贈る団体の運動趣旨に賛同し、エコキャップ・プルタブの回収を行っています。
- ④ＪＡしまね女性組織では「ＪＡ女性エコライフ宣言」にもとづき、消費電力削減、みどりのカーテン、マイ箸・マイバック持参運動にも取り組んでいます。

また、平成28年度には、ＪＡしまねとＪＡしまね女性組織の統一行動として、日常的な環境保全活動だけでなく、「食」と「農」へ広げることを目的に『みどりのカーテン』に県内一斉に取り組みます。

くらしの活動関係

- ①「食農教育」の一環として学童農園、親子クッキングスクール、あぐりキッズスクール等さまざまな活動を行なっています。年間を通じてカリキュラムを立て、体験を通して食や農の大切さを伝えています。

また、職員やＪＡ青年連盟・ＪＡ女性部などが出前授業として学校等に出かけ、豆腐づくり等の実習や米づくり学習等を通じて、地元食材の良さや食と農への理解を深める取り組みを行っています。



- ②農業体験や料理教室、趣味の講座などを通じて健康で心豊かな自立した女性を目指すとともに、農業への興味やＪＡへの関心を高めることを目的に40歳前後の女性の方を対象にＪＡ女子大学を開講しています。

講座は、毎月1回を目安に2年コースでカリキュラムを組んでおり、学びの場を通しての仲間づくりを進めています。

また、シニア大学や男の料理教室なども開講し、幅広い年代の生きがいづくりに取り組んでいます。



- ③健康相談を開催し、組合員の健康管理に努めました。
- ④ホームヘルパー修了者等が会員となっている助けあい組織では、ミニデイサービス・茶会・おやつサービス等のボランティア活動に取り組んでおり、その取り組みを支援しています。